

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場会社名 株式会社 フェヴリナ  
 コード番号 3726 URL <http://www.favorina.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 英樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 神代 亜紀  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 092-720-5420

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	561	—	14	—	14	—	23	—
20年3月期第1四半期	631	—	36	—	36	—	35	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	49.63	—
20年3月期第1四半期	76.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	1,157	956	956	81.3	81.3	2,003.67
20年3月期	1,098	929	929	83.6	83.6	1,954.04

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 941百万円 20年3月期 813百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社は、連結子会社である株式会社フェヴリナと平成20年8月1日付で合併したため、平成21年3月期は個別のみの業績予想となっております。  
 個別業績予想については2ページ 5. 平成21年3月期の個別業績予想 をご覧ください。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 詳細は、4ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 469,866株 20年3月期 469,866株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 83株 20年3月期 83株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 469,783株 20年3月期第1四半期 469,783株

5. 平成 21 年 3 月期の個別業績予想（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（％表示は、通期は対前期、第 2 四半期累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期累計期間	1,242	—	57	—	56	—	67	—	144	59
通期	2,627	43,698.3	192	—	192	—	202	—	431	22

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間におきまして当社は、グループ会社の経営・管理のさらなる徹底と既存事業の基盤強化を行い、グループの経営資源集中による事業収益基盤の強化を図ってまいりました。

コミュニケーション・セールス事業を行う株式会社フェヴリナにおきましては、新規顧客の獲得拡大を図るため Web での反響著しい「CO2 ジェルパック」の新インフォマーシャルを制作・投入いたしました。その結果、新規顧客の獲得効率が向上する見込みを得ました。今後、「CO2 ジェルパック」を新規顧客獲得の戦略商品としてプロモーションを強化いたします。また、既存顧客の囲い込み強化として、オートシップコースの販促に注力いたしました。その結果、オートシップコースの売上高は前年同期比約 175% と好調に推移いたしました。

以上の結果、当第 1 四半期連結会計期間の業績は、売上高 561,703 千円、営業利益 14,273 千円、経常利益 14,451 千円、四半期純利益 23,317 千円となりました。

今後も当社は、8 月 1 日の合併により経営判断の迅速化、事業基盤の強化を図り、収益性の向上に努めてまいります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の分析

##### (資産)

当第 1 四半期連結会計期間における資産の残高は 1,157,341 千円（前連結会計年度末 1,098,509 千円）、その内訳は流動資産 1,105,183 千円、固定資産 52,158 千円となり、前連結会計年度末に比べ 58,832 千円増加いたしました。これは主に営業活動により、現金及び預金が増加したものであります。

##### (負債)

当第 1 四半期連結会計期間における負債の残高は 201,179 千円（前連結会計年度末 169,391 千円）となり、前連結会計年度末に比べ 31,788 千円増加いたしました。これは主に買掛金、未払金の増加によるものであります。

##### (純資産)

当第 1 四半期連結会計年間の純資産の残高は 956,162 千円（前連結会計年度末 929,118 千円）となり、27,044 千円増加いたしました。これは主に四半期純利益として 23,317 千円を計上したことによりです。

#### (2) キャッシュ・フローの分析

当第 1 四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ 78,915 千円増加し、794,932 千円となりました。

当第 1 四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、78,765 千円となりました。これは主として売上債権の減少による増加 12,142 千円、たな卸資産の減少による増加 16,489 千円、仕入債務の増加による減少 15,625 千円、税金等調整前四半期純利益 9,826 千円の計上によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、150 千円となりました。これは長期貸付金の回収による収入 150 千円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による収入、支出はございませんでした。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当社は、連結子会社である株式会社フェヴリナと平成 20 年 8 月 1 日付で合併したため、平成 21 年 3 月期は個別のみの業績予想となっております。また、平成 21 年 3 月期の第 2 四半期及び通期の業績予想につきましては、計画通り進捗しており、平成 20 年 5 月 14 日に発表いたしました「平成 20 年 3 月期決算短信」における業績予想に変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

3. 繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	794,932	716,017
受取手形及び売掛金	106,716	118,859
商品	121,694	138,184
その他	85,054	73,653
貸倒引当金	△3,215	△3,573
流動資産合計	1,105,183	1,043,140
固定資産		
有形固定資産	※1 5,846	※1 6,365
無形固定資産		
のれん	3,282	4,376
その他	4,044	5,462
無形固定資産合計	7,327	9,839
投資その他の資産	※2 38,984	※2 39,162
固定資産合計	52,158	55,368
資産合計	1,157,341	1,098,509
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,582	26,956
未払法人税等	1,361	5,149
返品調整引当金	3,360	3,519
賞与引当金	—	2,450
その他	153,874	131,315
流動負債合計	201,179	169,391
負債合計	201,179	169,391
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	535,322	1,247,018
利益剰余金	△476,216	△1,211,230
自己株式	△601	△601
株主資本合計	941,293	917,975
新株予約権	14,868	11,142
純資産合計	956,162	929,118
負債純資産合計	1,157,341	1,098,509

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	561,703
売上原価	※1 117,217
売上総利益	444,486
返品調整引当金戻入額	3,519
返品調整引当金繰入額	3,360
差引売上総利益	444,644
販売費及び一般管理費	※2 430,371
営業利益	14,273
営業外収益	
受取利息	0
受取補償金	164
雑収入	12
営業外収益合計	177
経常利益	14,451
特別利益	
貸倒引当金戻入額	225
償却債権取立益	150
特別利益合計	375
特別損失	
役員退職慰労金	5,000
特別損失合計	5,000
税金等調整前四半期純利益	9,826
法人税、住民税及び事業税	897
法人税等調整額	△14,389
法人税等合計	△13,491
四半期純利益	23,317

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	9,826
減価償却費	1,937
のれん償却額	1,094
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△582
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△158
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,450
売上債権の増減額 (△は増加)	12,142
たな卸資産の増減額 (△は増加)	16,489
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,625
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3,240
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	21,348
その他	3,726
小計	82,240
法人税等の支払額	△3,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付金の回収による収入	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	78,915
現金及び現金同等物の期首残高	716,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 794,932

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第 1 四半期連結累計期間（自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日）

当連結グループは、同一セグメントに属する基礎化粧品・ベースメイク及び健康食品等の通信販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第 1 四半期連結累計期間（自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第 1 四半期連結累計期間（自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第 1 四半期連結累計期間（自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日）

科目	前年同四半期 (平成20年 3 月期第 1 四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	631,555
II 売上原価	129,863
売上総利益	501,691
III 販売費及び一般管理費	465,274
営業利益	36,416
IV 営業外収益	141
1. 受取賠償金	55
2. 受取手数料	46
3. その他営業外収益	38
V 営業外費用	295
1. その他営業外費用	295
経常利益	36,262
税金等調整前四半期純利益	36,262
法人税、住民税及び事業税	561
法人税等調整額	△80
四半期純利益	35,781



(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日)

	前年同四半期 (平成20年 3 月期第 1 四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	36,262
減価償却費	3,173
のれん償却	1,094
株式報酬費	410
貸倒引当金の増減額	1,243
返品調整引当金の増減額	1,013
賞与引当金の増減額	△2,500
売上債権の増減額	△29,934
たな卸資産の増減額	△18,987
その他流動資産の減少額	31,319
仕入債務の増減額	36,495
その他流動負債の増減額	△16,176
小計	43,414
法人税等の支払額	△23,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,381
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
差入保証金の差入による支出	△100
差入保証金の返還による収入	1,725
その他	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,595
III 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	21,977
IV 現金及び現金同等物の期首残高	580,860
V 現金及び現金同等物の期末残高	602,837

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第 1 四半期連結累計期間（自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日）

当連結グループは、同一セグメントに属する基礎化粧品・ベースメイク及び健康食品等の通信販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

前第 1 四半期連結累計期間（自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第 1 四半期連結累計期間（自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 6 月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。